

第 5 4 4 1 号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

甘 日 市 市 長



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付けで依頼のこのことについては、別紙のとおりです。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

広島県 廿日市市

平成20年5月13日に「道路特定財源等に関する基本方針」が閣議決定され、今後、一般財源化の議論を進めるにあたっては、道路特定財源諸税の受益者負担という現行制度が、所期の目的を達成したかどうかを確認し、国民の声や地方の意見にも真摯に耳を傾けた上で、地方における今後の道路整備や財政に影響を及ぼさないよう、検討を進めていく必要がある。

本市の道路事業は多くの未整備区間を残しており、早期整備が重要な課題となっているが、厳しい財政状況の中、多額の一般財源を充当してまで道路整備を進めているのが現状である。近年の地方における財政悪化は、本市のみならず広島県においても大変深刻な状況であり、県道事業等はもとより、国道事業においも、広島県や広島市の負担金の予算措置の状況により事業が延期されたり、新規事業の取り組みが遅れている箇所が存在しており、地方の負担の軽減が望まれている。また、地方の道路整備にあたっては、高規格道路や県道、市道の財源として、道路特定財源などを充当しているが、国レベルでの道路特定財源の一般財源化の議論については、地方を交えて議論が行われるべきであり、今後の地方の道路整備や増大する既存ストックの維持修繕にあたっては、補助率の上乗せや、新たな補助メニューの創設など、地方が計画的・積極的に整備を行っていけるよう配慮するべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

広島県 廿日市市

○現状

本市は、沿岸部に山陽自動車道、広島岩国道路及び山間部に中国自動車縦貫道の高規格幹線道路が走り、廿日市ＩＣ・ＪＣＴ、大野ＩＣ及び吉和ＩＣが設置され、平成２０年３月からは、宮島ＳＡスマートＩＣ社会実験が実施されている。

その他の幹線道路は、東西方向は沿岸部の国道２号、国道２号西広島バイパス、内陸部の主要地方道大竹湯来線、山間部の国道１８６号から構成され、南北方向は主要地方道廿日市佐伯線、国道４３３・４８８号などから構成されているが、東西方向に比べると、やや脆弱となっている。

また、市民に身近な生活道路については、密集市街地、点在した集落、土地利用が厳しく制限されている宮島地域など、異なる地域特性や地域固有の課題を有しており、多くの未整備箇所を残していると共に、整備後２０年以上経過した道路も数多く存在し、舗装や構造物の修繕等を行わなければならない時期にきている。

○課題

本市は、他の市町に比べ、高速道路ネットワークには比較的恵まれているが、高速道路と一体的に機能している広島岩国道路は、高速道路より高い料金設定であり、社会実験中のスマートＩＣもアクセス道路の狭小幅員等により利用を普通車までに制限されるなど、高速ネットワークを活かしきれていない状況である。

沿岸部の幹線道路においては、国道２号の宮島口周辺の慢性的な渋滞解消や台風時に高潮被害により通行止めとなる鳴川地区の防災対策、さらには、広島岩国道路及び国道２号西広島バイパスと広島南道路の接続など、幹線道路網を中心とした、より利用しやすい、災害に強い交通ネットワークの整備が必要不可欠である。

市道については、市域の各地域の特性に応じたきめ細かい対応によって、利便性・快適性の高い整備を行っていく必要があり、また、大量の老朽化していく施設を計画的に維持修繕していかなければならない時期に来ているにもかかわらず、厳しい財政状況から実施が困難となっており、道路整備における財源の確保が重要な課題となっている。

さらに、市域内には、交通量に比して歩道のない路線や、狭小で段差のある歩道、踏切内の幅員が狭く車の離合や歩行者の通行に支障を来している踏切が多数あり、少子高齢化の進む中、子育てや高齢者の需要に積極的に取り組んでいかなければならない状況である。

本市には、国内外から年間300万人前後の人が訪れる広域的な観光拠点である世界文化遺産を擁する「宮島」をはじめ、瀬戸内海国立公園・西中国山地国定公園などの海と山の豊かな自然環境や歴史・文化資源、スポーツ・レクリエーションなどの多彩な観光・交流資源が分布している。また、沿岸部の近隣市には、広島市の世界遺産・原爆ドーム、呉市の大和ミュージアム、岩国市の錦帯橋といった観光拠点が点在しており、これらの拠点と広島呉道路、広島南道路等で連携し、さらに市域内の観光資源ともネットワーク化を図ることにより、宮島を中心とした観光振興による地域の活性化を図っていかねばならない。

また、合併により広大となった市域には、都市地域と農山村地域、歴史文化の宮島が内存し、水産業から製造業、伝統産業など多様性のある地域産業が展開されており、これらの産業の物流ルートの確保や、沿岸部の渋滞解消などにより、一層の産業の活性化を図り、地域が自立し、競争力強化に繋げていく必要がある。

市民の生活に身近なところでは、恵まれた高速道路やJR山陽本線、広電宮島線などの軌道系の公共交通機関を最大限に活かす道路整備や、子供から高齢者まで安心して通行できる歩道整備、災害に強い道路網の構築などにより、快適で多彩な暮らしができる都市を目指し、道路サービスを提供していかねばならない。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

広島県 廿日市市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 高速ネットワークの効率的活用・機能強化 ・ 地域の自立と競争力強化 ・ 安全・安心の確保 ・ 社会資本ストックの老朽化対応	・ 広島岩国道路の料金引き下げ ・ スマートＩＣの本格導入及びアクセス道路整備 ・ 広島岩国道路及び西広島バイパスと広島南道路の接続 ・ 西広島バイパス廿日市高架事業の促進と都心部延伸 ・ 国道２号宮島口周辺の渋滞対策 ・ 国道２号鳴川地区の防災対策 ・ 歩道整備 ・ 踏切における歩道整備 ・ 道路・橋梁の計画的な維持修繕	・ 国道２号・宮島口周辺の渋滞緩和 ・ 周辺地域の利便性の向上、産業活性化 ・ 観光の活性化 ・ 周辺道路の渋滞緩和 ・ 広島・呉方面への移動時間短縮 ・ 物流・観光の活性化 ・ 広島方面への移動時間短縮 ・ 現道の渋滞解消 ・ 観光の活性化 ・ 地域住民の移動時間短縮 ・ 災害時のライフライン確保 ・ 事故件数の減少 ・ 事故件数の減少 ・ 施設の長期寿命化	